別表第一付表第一（第一条関係）

使用方法

本APIを使用してOAuth2.0アクセストークンの発行を要求する。
正常に発行が完了した場合は、アクセストークンが返却される。正常に発行されなかった場合は、失敗した理由がエラーメッセージとして返却される。
Content-typeにapplication/x-www-form-urlencodedを指定してデータを送信する形式でリクエストし、JSON形式で返却される。
HTTPメソッド：POST
リクエストヘッダー：Content-Type: application/x-www-form-urlencoded

留意事項

本APIが正常に終了した場合は、HTTPステータスコード200とJSON形式のレスポンスオブジェクトが返却される。（付表第２を参照）
送信したパラメータのチェックにてエラーとなった場合は、HTTPステータスコード400とJSON形式のレスポンスオブジェクトが返却される。（付表第２を参照）
クライアント認証情報（クライアントアサーション）が取得できない場合は、HTTPステータスコード401とJSON形式のレスポンスオブジェクトが返却される。（付表第２を参照）
処理が30秒以上経過した場合は、タイムアウトとなる。タイムアウトが発生した場合、原則HTTPステータスコード500番台のエラーが返却される。（JSON形式では返却されない）※目安として30秒と記載しているが、性能テストを踏まえ、適切なタイムアウト時間を設定されたい
サービスメンテナンス時も同様に原則HTTPステータスコード500番台のエラーが返却される。（JSON形式では返却されない）

上記以外の想定外エラーが発生した場合は、HTTPステータスコード503とJSON形式のレスポンスオブジェクトが返却される。（付表第２を参照）

※1 【必須】　：「◎」･･･ パラメータまたはオブジェクトが必ず出現する。

リクエストID	oauth/v1/token_R01

パラメータ

項番	パラメータ名	項目名	項目説明	必須※1	データ型	文字種	データ長 桁数	検索方法	備考
1	grant_type	グラントタイプ	利用するOAuth2.0のグラントタイプを指定する	◎	文字列	半角英字記号	18		"client_credentials"で固定
2	client_assertion_type	クライアントアサーションタイプ	利用するOAuth2.0のクライアントアサーションタイプ	◎	文字列	半角英字記号	54		"urn:ietf:params:oauth:client-assertion-type:jwt-bearer"で固定
3	client_assertion	クライアントアサーション	クライアントIDとクライアントシークレットから作成したクライアントアサーションJWT	◎	文字列	半角英数字記号	-		生成方法は「付表第３」参照
4	scope	利用するAPIのリスト	利用するAPIに対応するスコープを 「${提供側業務システムの業務システムID}:${リソース名}:${操作名}」で指定する スコープの文字列は下記に示す対応に基づいて決定する。 ・提供側業務システムの業務システムID：「地方自治体の基幹業務システムの統一・標準化における各種IDの管理方針」の業務ID ・リソース名：「別表第４及び別表第５」のAPIコール名 ・操作名：「別表第４及び別表第５」の操作種類 複数のスコープの指定が必要である場合は、スペース区切りで指定する。	◎	文字列	半角英数字記号	-		複数の提供側業務システムにアクセスする場合は、提供側業務システムごとに最小限のスコープを付与すること。